

白神山地における空間情報活用セミナー（主催 白神自然環境研究所）

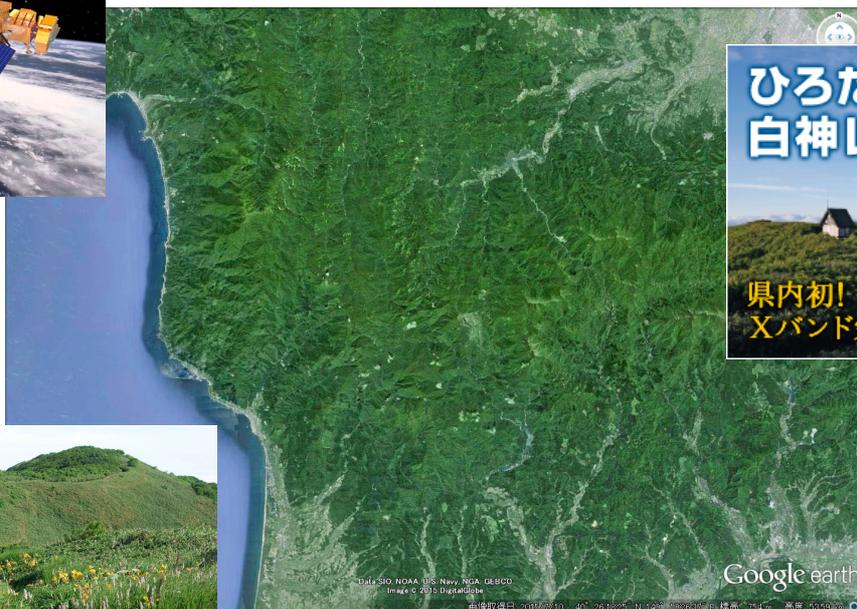
日時：12月11日 15:00~17:30

場所：総合教育棟310教室

グローバルな規模で進む環境変動下では、白神山地でも気象や動植物の分布、生息・生育状況等にさまざまな変化が危惧されています。白神自然環境研究所では、植生、動植物分布、気象や地表面の動きなどに関して現地での科学的な継続観測（モニタリング）の体制を構築していますが、限られた箇所での観測結果から白神山地での変動実態を把握することが必要となります。その点で、衛星画像などを活用したリモートセンシング技術は大きな可能性を秘めているものの、そのデータが示す内容は必ずしも自明ではありません。現地観測とリモートセンシング技術という二つの調査手法が緊密に連携することができれば、広域かつ詳細な環境変動把握が可能になります。

本セミナーでは、白神山地における現地観測データとして植生分布と斜面変動の現象を紹介するとともに、リモートセンシング技術に関連している方々から、さまざまなデータや環境監視技術を紹介して頂き、今後取り組むべき方向と可能性を議論します。関係する皆さんのほかに、フィールド調査やリモートセンシングに興味のある学生さんの参加も歓迎します。

1. 白神の環境変動が植生に及ぼす影響：広域モニタリングの必要性（石川幸男：白神研）
2. 白神山地の地すべり発生危険斜面抽出手法と崩壊危険度評価（鄒 青穎・檜垣大助：農学生命）
3. リモートセンシングデータを利用するために（丹波澄雄：理工）
4. 衛星画像活用のためのデータベースの構築（飯倉善和：理工）
5. フリーGISソフトウェア QGIS を用いたオープンデータ利用例の紹介（片岡俊一：理工）
6. マイクロ波レーダーリモートセンシング（斎藤玄敏：理工）
7. 気象レーダー観測で得られる情報（石田祐宣：理工）



連絡・問い合わせ先：白神自然環境研 石川幸男（内 3708）